

# 河合ようこ

日本共産党京都市会議員

です



9月決算  
市会報告



メール ✉ shikai@kawai-yoko.jp

🔍 河合ようこ



決算特別委員会・局別質疑などで質問しました。

## 住民の意見を反映した 西京区・洛西ニュータウンのまちづくりを

※バリアフリー化・  
交通問題の解決を！

『洛西ニュータウンアクシオンプログラム』について、私はまちづくりトークで出された声を紹介し、バリアフリー化と交通問題の解決、サブセンター・ラクセーヌの活性化が不可欠と質しました。

高齢者や子育て世代から洛西を住みやすくするために「巡回バスが必要」「市内中心部と結ぶ交通がほしい」の声。市営住宅やサブセンターの会館のバリアフリー化、会館の利用料金の引き下げを求める声も多く出されています。これらは、10年前に作られた「まちづくりビジョン」でも課題とされています。住民の意見を聞く仕組みをつくることと財政的な支援をと求めました。



阪急高架下

▲西側は住宅地、東はにぎわい？

※「洛西口」  
桂駅間プロジェクト

今年3月に完成した阪急京都線の連続立体交差化。事業が始まる前から、近隣住民の方から住環境が変わることへの不安が出される中、担当者や住民が丁寧な話し合いをしながら工事が進められてきたものです。昨年12月に市長と阪急電鉄が協定を締結した「洛西口」桂駅間プロジェクトでは「にぎわい」といわれています。しかし、近隣の方は「平穩に暮らしたい」と願っておられます。私は「この住民の声を大事にすべき」、また「ラクセーヌやサブセンターの活性化と競合することがあってはならない」と質しました。

## 全員の 中学校給食の実現を

市民からも毎年「全員の中学校給食を」と請願が出されています。今夏調査に行った大阪市、北九州市では、市民や生徒・保護者などの意見を聞くアンケートにとりくみ、全員の給食実施に踏み出しています。育ち盛りの時期、栄養のバランスのとれた温かい給食をみんなで食べることが大事だと思えます。選択制給食実施から16年、京都でも再検討すべき時です。市会決議も提案しました。



## 就学援助の拡充、 周知の改善を

現在、京都市では、制服代などの新入学の際の支度金が入学後に支給されていますが、実態に合いません。他都市でも改善が図られており、本当に必要な時に支給されるようにと改善を求めました。

また、就学援助の対象の拡大と、毎年、全家庭に「しおり」を配布する等、工夫して就学援助の周知を図ることを求めました。

## 買い物に困っている 実態調査と対策を！



▲店の前で要望を  
聞く(5月)



ライブ嵐山が閉店し、困っておられる嵐山学区の方から「なんとか対策を」の声を多数伺いました。買い物弱者は市街地でも増え、全国で約700万人(経産省調査)も。買い物は高齢者のくらし・健康に関わる大問題です。議員団が数年前、視察した高崎市は、住民アンケート等で実態をつかみ、地域の特長にあった買い物対策を福祉部局中心に実施しています。本市も実態を調査し対策をと求めました。

また、嵐山東学区では、市バス28号は観光シーズンには満員で「買い物にも行けない」の声。「京都バスにも敬老乗車証が使えるように」と求めました。

## つばやき

## 保育の質

子どもが  
安心できてこそ

♪保育園に行ったらセンチイがいなかった。好きだったセンチどこにいったの？ ポクのがキライになったの？ …これは市立病院院内保育所言いとり保育園を不当に辞めさせられ裁判されている保育士さんのことを歌った『私たちの勇気』の歌詞です。馴染みの先生が一人もいない保育園に行く子どもも保護者はどんな気持ちだろう？、大好きな子どもたちから不意に離される先生の気持ちはどんなだろう？歌いながら涙が出ます。職員が全員入れ替わるなんてありえない。保育にかけるお金を削り、職員から仕事を奪い、子どもから安心を奪った市立病院や京都市「全国トップレベルの保育」は子ども置き去り？！ 子どもの安心が第一ではないですか。



▲「いま保育とは」の集会で、  
『私たちの勇気』を  
歌いました。(10月30日)

## この他の質問

- 子どもの医療費を中学校卒業まで無料に。
- 認可保育所の増設、保育士等の給与引き上げ、経験年数によって昇給する仕組みを。
- 敬老乗車証の応益負担方針は撤回を。
- 現行制度で民間バスにも使えるように。
- 通学路・生活道路の安全対策。公園管理の充実、バリアフリー化。土木事務所の予算増額。

どんなお困りごとでもご相談ください

日本共産党 西京生活相談所

☎電話: 392-3546